



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
企画会議
〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

www.alpajapan.org

Date 2013.7.26

No. 36-54

B787 運航再開後のアンケート (B787 を運航する乗員を対象)

日本航空と全日空がバッテリーシステムの改修を実施し、6月1日から運航を再開してから2ヶ月が経過しようとしています。しかしながら、日乗連ニュース 36-39 で紹介した SMS の手法に基づいた見解に対する回答は、ボーイング並びに運航会社から得られたとは言えない状況です。

日乗連は運航再開に反対しているのではなく、SMS の考え方に基づいて、「何が悪かったのか、どのように改善したか、それによって受け入れ可能なリスクレベルになったのか」という点を、根拠を示して説明することで乗員、整備士、職員、そして利用者が十分に理解し、安心して運航・利用出来る環境を構築することが重要だと考えます。日乗連ニュース 36-30 で運航再開前の職場状況を調査するべくアンケートを実施しましたが、今回は運航再開後の状況を、再度調査し問題点、疑問点を洗い出したいと考えています。(参考日乗連ニュース No. 36-19、36-30、36-39)

今回は紙面での回答に合わせ WEB での回答も可能

(<https://jp.surveymonkey.com/s/3VSBFK6>)です。どちらか一方での回答をお願いします。

今回のアンケートで得た情報(紙面・WEB 共に)は日乗連が責任をもって管理し、今回のアンケートの取り組みの目的以外には使用しません。

今回は B787 を運航する乗員のみを対象とし、締め切りは 8月31日 です。よろしくお願いします。

運航所属会社 ANA JAL (所属会社を○で囲んで下さい)

・現在の Boeing 社におけるバッテリー不具合対策について、下記の中からお選びください。

- ① 十分に安全を確保できるものである
- ② 完全ではないものの、許容できる範囲のものである
- ③ 現状の対策では十分であるとは言い切れない
- ④ 現状の対策では安全は確保されない
- ⑤ 分からない



・前問の①以外の方にお聞きします。安全を確保するために更に必要な対策は何ですか？
(該当するものすべてにチェックしてください)

- バッテリー不具合の原因を解明したうえでの対策実施
- バッテリー改修に関わる、より一層の情報の開示
- 現状の対策では **ETOPS** 運航は容認できない
- 再度同じ事象が発生した場合に対する **PIC** 判断の会社の尊重姿勢
- バッテリー(Main or APU)を外した状態でのテストフライトと **ETOPS** 運航の検証
- バッテリー不具合発生時の **EICAS** メッセージと手順の拡充

- その他()

・その他ご自由にご意見をお書き下さい。